

〒812-0026
福岡市博多区上川端町9-35
リノベーションミュージアム冷泉荘
A12号 冷泉荘事務局
(11:00~19:00, 火曜定休)

電話/FAX 092-985-4562
mail yj@tenjinpark.com
<http://www.reizensou.com/>



twitter
[@reizensou](https://twitter.com/reizensou)

Facebook
www.facebook.com/reizensou/

— 冷泉荘 交通アクセス —

地下鉄空港線中洲川端駅下車・5番出口から上川端商店街をキャナルシティ方向へ。博多らーめんを左折し、博多消防署冷泉出張所前的小道を左折。
*駐車場はございません。



TETRA+GRAPH

冷泉荘入居者紹介

A51
TETRA
+
GRAPH
[写真スタジオ]

A53
nano Architects
信濃設計研究所

B54
冷泉
復元部屋

donner le mot
[NPO法人 ドネルモ]

冷泉詩話会

「現代詩の勉強会」であり、作品の「実作指導」の場であり、かつ「語り合い」の場です。

日時: 1月10日(日)14時~17時

(毎月第2日曜14時から開催予定)

場所: B54号 冷泉復元部屋

参加費用: 作品の実作指導希望 2,500円

実作指導なしでの参加 2,000円

[申込方法]

講師: 渡辺玄英 zz79@goo.jp



魅黒寧白亞～ミジンコでもわかる展～

ミクロネシア(=色盲の割合が多い島をもつ国、光と影のコントラストで織るマットというものがある)

クオリアの問題、自分の見えている色と他人の見えている色は同じとは限らない。その確かめようもないために、間の溝は深まるばかり。動物

のほとんどは生きるために必要な色覚しか持たず、ほとんどの哺乳類は2色の色覚で自然界をサバイブしている。

モノクロームという「影」と「光」の最低限の色覚情報は

あらゆる地球上の生物に共通するものである。

度、色という境界線をなくして他者と歩み寄る展示会。



魅黒寧白亞～ミジンコでもわかる展～

ミクロネシア(=色盲の割合が多い島をもつ国、光と影のコントラストで織るマットというものがある)

クオリアの問題、自分の見えている色と他人の見えている色は同じとは限らない。その確かめようもないために、間の溝は深まるばかり。動物

のほとんどは生きるために必要な色覚しか持たず、ほとんどの哺乳類は2色の色覚で自然界をサバイブしている。

モノクロームという「影」と「光」の最低限の色覚情報は

あらゆる地球上の生物に共通するものである。

度、色という境界線をなくして他者と歩み寄る展示会。



魅黒寧白亞～ミジンコでもわかる展～

ミクロネシア(=色盲の割合が多い島をもつ国、光と影のコントラストで織るマットというものがある)

クオリアの問題、自分の見えている色と他人の見えている色は同じとは限らない。その確かめようもないために、間の溝は深まるばかり。動物

のほとんどは生きるために必要な色覚しか持たず、ほとんどの哺乳類は2色の色覚で自然界をサバイブしている。

モノクロームという「影」と「光」の最低限の色覚情報は

あらゆる地球上の生物に共通するものである。

度、色という境界線をなくして他者と歩み寄る展示会。

魅黒寧白亞～ミジンコでもわかる展～

ミクロネシア(=色盲の割合が多い島をもつ国、光と影のコントラストで織るマットというものがある)

クオリアの問題、自分の見えている色と他人の見えている色は同じとは限らない。その確かめようもないために、間の溝は深まるばかり。動物

のほとんどは生きるために必要な色覚しか持たず、ほとんどの哺乳類は2色の色覚で自然界をサバイブしている。

モノクロームという「影」と「光」の最低限の色覚情報は

あらゆる地球上の生物に共通するものである。

度、色という境界線をなくして他者と歩み寄る展示会。

